

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区西港町62-4

団体名 九州メタル産業株式会社

代表者 代表取締役 庄崎 秀昭

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

| | | |
|-------------|---|------------------|
| (ふりがな) | きゅうしゅうめたるさんぎょう (か) | |
| 団体名 | 九州メタル産業株式会社 | |
| (ふりがな) | しょうぎき ひであき | |
| 代表者氏名 | 庄崎 秀昭 | |
| 所在地 | 市内事業所 | 北九州市小倉北区 西港町62-4 |
| | 主たる事業所 | |
| 事業概要 | 金属スクラップ加工・販売 | |
| 企業・NPO法人等の別 | 企業 | |
| 業種 (企業のみ) | 製造業 | |
| 従業員数 (企業のみ) | 101～300人 | |
| ホームページの有無 | 有 | |
| ホームページURL | https://www.nishitetsu.ne.jp/kyusyumetal/ | |

連絡先

| | |
|---------|--|
| 担当部署 | 総務部 |
| 担当者 | 石井 秀明 |
| 電話番号 | 093-582-6311 |
| メールアドレス | ishii@kms.nnr.co.jp |

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

| No. | チェック項目 | 分類 | 関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です | 関連する主なゴール・ターゲット | | | 具体的な取組内容 | 最も関連性のある | 最も関連性のある |
|-----|--|-------------------------|--|-----------------|-----------|-------|--|-----------|-----------------------|
| | | | | ゴール | ターゲット | 指標 | | ゴール・ターゲット | 「北九州市SDG未来都市計画」の指標や取組 |
| 1 | 温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。 | 環境 (CO2削減) | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の処理による材料及びエネルギーの代替 ・事業所内にソーラーパネルによる発電設備設置を検討 | ゴール | 指標 |
| | | | | 7.2 | 9.4 | 13.3 | | ゴール9 | 環境 (1) ① |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 9.4 | | | | 9.4 | |
| 2 | 事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。 | 環境 (廃棄物削減) | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・紙、段ボール、空き缶、ペットボトル等、リサイクルできるものの分別の徹底 | ゴール | 指標 |
| | | | | 9.4 | 12.3、12.5 | 13.3 | | ゴール9 | 環境 (2) ② |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 9.4 | | | | 9.4 | 環境 (2) イ |
| 3 | 事業に伴う調達 (原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等) について、環境負荷や人権などに配慮している。 | 環境・社会 { サプライチェーン管理 } | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・西鉄グループグリーン購入ガイドラインに基づき、環境に配慮したグリーン購入及び調達を推進 | ゴール | 指標 |
| | | | | 10.2 | 12.2 | 13.3 | | ゴール13 | |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 13.3 | | | | 13.3 | 環境 (2) イ |
| 4 | 商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。 | 経済・社会 (技術向上) | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・資源再生分野における大学との共同研究の推進 | ゴール | 指標 |
| | | | | 8.2 | 9.5 | 12.5 | | ゴール9 | |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 9.5 | | | | 9.5 | |
| 5 | 環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。 | 環境・経済・社会 (商品開発) | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・廃プラスチックの製品化 | ゴール | 指標 |
| | | | | 7.2 | 9.4 | 13.3 | | ゴール9 | |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 9.4 | | | | 9.4 | |
| 6 | 長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。 | 経済・社会 { 労働環境整備 } | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・育児、介護に関する短時間勤務制度の導入 ・育児休業、介護休業、看護休暇制度の導入 | ゴール | 指標 |
| | | | | 3.4 | 5.5 | 8.8 | | ゴール8 | |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 8.5 | | | | 8.5 | 社会 (1) イ |
| 7 | 年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。 | 社会 { ジェンダー平等 } | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・「パートタイム・有期雇用労働法」が求める同一労働・同一賃金を実施 ・人権に関する情報を提示や、人権研修を通じ、啓発活動を行っている。 | ゴール | 指標 |
| | | | | 5.5 | 8.5、8.8 | 10.2 | | ゴール8 | |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 8.5 | | | | 8.5 | 社会 (1) イ |
| 8 | セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。 | 社会 { ハラスメント防止 } | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ハラスメント防止に関する規定を整備し、社内に通知を実施 ・ハラスメントに対する相談窓口および社外のホットラインを設置 | ゴール | 指標 |
| | | | | 5.1、5.4 | 8.8 | | | ゴール8 | |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 8.8 | | | | 8.8 | 社会 (1) イ |
| 9 | 疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。 | 社会 (健康経営) | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・従業員に対して、定期的に健康診断やスクリーニング検査を実施 ・健康診断やストレスチェック等の結果に問題があれば、産業医の面談指導を実施 | ゴール | 指標 |
| | | | | 3.4 | 8.8 | | | ゴール8 | |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 8.8 | | | | 8.8 | 社会 (1) イ |
| 10 | 全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。 | 経済・社会 (人材育成) | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・高校生の職場見学を実施 | ゴール | 指標 |
| | | | | 4.4 | 8.2、8.6 | 17.17 | | ゴール4 | |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 4.4 | | | | 4.4 | 社会 (1) イ |
| 11 | 反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。 | 社会 (不正防止) | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・反社会的勢力に対する基本方針を策定し、従業員および社外に通知 ・贈収賄防止と公正な取引に関する方針を策定し、従業員および社外に通知 ・個人情報管理規程を策定し、従業員および社外に通知 ・情報セキュリティ対策を推進 ・コンプライアンスに関する情報を定期的に提示 | ゴール | 指標 |
| | | | | 16.1、16.3、16.5 | | | | ゴール16 | |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 16.5 | | | | 16.5 | 社会 (2) ウ |
| 12 | 自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV (※) などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。 | 経済・社会 (持続可能性) | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・(グループ共通)SDGsコンセプトブックの作成 | ゴール | 指標 |
| | | | | 11.b | 12.6 | 13.1 | | ゴール12 | |
| | | | | ターゲット | | | | ターゲット | 具体的な取組 |
| | | | | 12.6 | | | | 12.6 | 社会 (2) ウ |

※CSV (Creating Shared Value : 共通価値の創造)
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス (経済的な価値) を創出すること。

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月28日

団体名 九州メタル産業株式会社

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

| | | |
|------|------|---|
| 【経済】 | 【環境】 | 資源循環型社会構築に寄与するため、廃棄物処理・リサイクル技術の向上とリサイクル分野の拡大。 |
| 【社会】 | | 全従業員に「働きがいのある」適切な労働環境を提供する。 |

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

| 達成を目指す分野に「○」 | | SDGs達成に向けた重点的な取組 | 指標 (KPI) ・目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。 | | 最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。 |
|--------------|---|-----------------------------------|--|---|---|
| 経済 | ○ | 産業廃棄物の適正処理とリサイクル分野の拡大等による再資源化の促進。 | 指標 (KPI) | シレット-生産量確保 | 指標 |
| 社会 | | | 目標値 | | 具体的な取組 |
| 環境 | ○ | | 2030年 (その他の場合) ()年 | 年間生産42,000 t以上 (毎年) | |
| 経済 | | 多様な働き方に向けて、適切な労働環境の整備・提供を図る。 | 指標 (KPI) | 労働災害撲滅 | 指標 |
| 社会 | ○ | | 目標値 | | 具体的な取組 |
| 環境 | | | 2030年 (その他の場合) ()年 | 労働災害(休業)0件 (毎年) | 社会 (1) イ |
| 経済 | | 環境負荷低減(CO2削減)に向けて目標数値を達成する。 | 指標 (KPI) | 年間CO2排出量 | 指標 |
| 社会 | | | 目標値 | | 環境 (1) ② |
| 環境 | ○ | | その他 (その他の場合) 2022年 | 2013年実績 2,301 t ↓ 2022年実績 2,185 t | 具体的な取組 |

記載について

- 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- 指標 (KPI) は、原則として数値目標を記載してください。

地域課題への取組み

団 体 名 九州メタル産業(株)

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

| 取組名 | 具体的な取組内容 |
|-------------------|---|
| 99 その他（市と連携した取組み） | ①北九州環境ビジネス推進会の所属し活動中。 ②北九州環境未来技術開発助成事業において北九州市立大学とプラスチック再利用の共同研究中。 |
| | |
| | |
| | |

記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。